

# 『人口減少社会でも輝く！埼玉研究会』report

## 第4号 (平成 27 年 8 月 10 日号)

編集・発行：彩の国さいたま人づくり広域連合 政策研究担当

### 第4回研究会を開催しました！

第4回研究会を8月10日(月)に自治人材開発センターで開催しました。今回の研究会では、①牧瀬先生の特別講義、②中間報告会(9/18、会場は当広域連合の講堂)に向けての準備等を行いました。

中間報告会に向けた準備では、まず、研究会として発表する内容(項目)を検討し、各チームから3つの事業案を示すこと、2月に完成させる「研究報告書」の目次案を資料とすることなどを決定しました。また、次回研究会(8/28)で各チームから中間報告会を想定した発表を行うことが決まり、各チームで発表者やスライド作成者などの役割分担を決めて、それぞれで準備を進めることになりました。

本日の研究会も1日をとおして活発な議論が行われ、とても充実した研究会となりました。中間報告会までの研究会は残すところ1回です。しっかり準備していきたいと思います。

### 事業案検討 ☆☆☆ 自然増チーム(チーム名：『NATURES』)☆☆☆

中間報告会では「出会いから子育て(もう一人多く生みたいと思える)までの包括的支援」について発表することとし、その内容について議論しました。

まず、出生率が低くなっている理由や包括的支援が必要と考える理由などについて意見交換し、今後、仮説の立証に必要なデータを皆で集めていくことにしました。また、中間報告会では、これまで検討してきたいくつかの事業のうち「お節介おじさん・おばさん・マリッジセーバー事業」を中心に取り上げることを決めました。(事業の内容は中間報告会を楽しみにしてください！)



### 事業案検討 ◆◆◆ 社会増チーム(チーム名：『人口増やしな埼玉 いらっ彩』)◆◆◆



中間報告で提案する事業の方向性を「基礎自治体で採用してもらえらる事業」「行政と民間が協力して行える事業」として検討しました。具体的な事業案の検討にあたって、メインとなるターゲットを「子どものいる夫婦」と仮置きし、皆でアイデアを出し合いました。議論の中では「教育・習い事」「小児医療」「住宅整備」「農業」などのキーワードが上がり、これらを軸に据えた事業案の検討を進めていくことになりました。中間報告では良い事業提案ができるよう、頑張っていきます。

### 事業案検討 ※※※ 雇用増チーム(チーム名：『雇用プラスONE』)※※※

中間報告会での発表に向けて、「働きたい人が誰で、どういうニーズがあるのか」という視点から、これまで検討してきた事業案をブラッシュアップしました。

これまで検討してきた事業のうち、報告会当日に示す事業を「①地域の高齢者が子どもの面倒を見る事業」、「②新規就農(=農業全体への付加価値の支援)」、「③中小企業支援」に絞り、発表内容やスライドの見せ方などを皆で検討しました。中間報告ではこのうちの一つを詳しく紹介(まだ秘密です)します。次回研究会までに各自の役割に沿ってスライド作成や読み原稿作成を進めることになりました。



## 今回の牧瀬先生「特別講義」！

本研究会では研究会の開催に合わせ、コーディネーターの牧瀬先生による特別講義を実施しています。4回目となる今回は、研究員を対象に中間報告会での発表に役立つ御講義をいただきました。

### ★★ 特別講義『プレゼンのプチ視点』★★

9月18日（金）に開催される中間報告会でのプレゼンテーションについて、「事前準備」から「当日の発表」までを幅広く、そして丁寧に教えていただきました。

講義の最後に、牧瀬先生から「プレゼンを成功させるためには、プレゼンする側の伝えたいとする熱意が大切である。その熱意が人を動かすことに繋がっていく」との言葉を紹介していただき、研究員一同、相手に届くプレゼンの実施に向けて、しっかり準備することを心に誓いました。

### 【お知らせ】

本研究会の「牧瀬先生特別講義」は県内自治体で政策立案に携わっている方などに公開しています。聴講を希望する方は「彩の国さいたまづくり広域連合 政策研究担当（電話：048-664-6685）」までお申込みください。





※1 次回の講義は9月29日（火）を予定しています。講義テーマは決まり次第、研究会 facebook でお知らせします。（研究会 facebook はこちら <https://www.facebook.com/jinkougensyoutoppa>）

※2 座席数の関係で希望する方すべてが聴講できるとは限りません。あらかじめ御了承ください。



## 研究会の仲間を紹介します♪（第3回）

私たちの研究会は牧瀬先生と、職場も年齢も経験も様々な「個性溢れる」研究員22名で構成されています。このコーナーでは、毎号研究会の仲間たちを紹介していきます。

増田 三枝子（自然増チーム）	萩原 孝明（自然増チーム）
 <p>所属：NPO法人クラブしっきーず 「子どもや若い世代の笑顔が浮かんでくるような、そんな研究を進めていきたいと思えます!!!」</p>	 <p>所属：武蔵野銀行総合企画部 「研究会を通じて、個人として組織人として何ができるかを気づき、実践できるよう成長したいです。」</p>
平 修久（雇用増チーム）	郷 大助（雇用増チーム・サブリーダー）
 <p>所属：聖学院大学政治経済学部 「想像力と創造力を働かせて、研究員の皆さんと一緒に突拍子もないことを考えていきたいと思えます。」</p>	 <p>所属：武蔵野銀行地域サポート部 「共同研究には2年連続の参加になります。皆と一緒に楽しく研究を進めていきたいと思えます。」</p>

## 次回の研究会は・・・（予定）

今回は、9月18日（金）の中間報告会（会場：自治人材開発センター）に向けて、発表資料、プレゼンテーションの準備を進めます。まず、各チームで作成した発表資料案をもとに発表を行い、全体で意見交換を行います。その後、意見交換で出された意見を発表資料案に反映させ、再度発表を行う・・・の流れを予定しています。これを繰り返し、研究会全体で資料及び発表内容のブラッシュアップとプレゼンテーションの練度を上げていきます。

## ～今号の最後に事務局から～

中間報告会に向けた準備も着々と進んできた感じです。各チームで発表する事業の大枠が決まり、データ収集から仮説の検証、事業案の練り込みに取り組んでいます。中間報告会では時間の制約があり、自然増・社会増・雇用増の各チームからの事業提案は限られた数しかできませんが、年度末の最終報告には数多くの事業を皆さまにお披露目できるよう進めていきたいと考えています。まずは中間報告会です。皆さん、聞きに来てください！

◆研究会に関するお問合せは「政策研究担当」まで TEL：048-664-6685 E-mail：jinzai03@hitozukuri.or.jp